

外国人研究者	スモーク, テレサ ティルコウスカ SMOLAK, Teresa Chirkowska
講演テーマ	Reconfiguring Legal Professionalism in the Age of Generative AI: Comparative Research on Education, Ethics, and Empirical Practice (生成AI時代における法曹専門職の再構築：法教育と実務利用の国際比較研究)
講演日時	2026年4月1日(水) 14:00~17:00
講演会場	駿河台キャンパス 1303号室(13階) およびオンライン(Zoom)のハイブリッド方式
講演概要	ポーランドの生成AIの法曹による利用実態について、アダム・ミツェヴィチ大学法学部の教授のマレク・アダム・スモーク氏と同大学心理学・認知科学部教授のテレサ・ティルスカ・スモーク氏は、ほかの数名の研究者とポーランドにおいて、裁判官、弁護士、検察官に対する、大掛かりにアンケート調査をおこなっており、今回は、テレサ氏からは、そのアンケート調査の概要の紹介と分析、そして、法哲学者であるアダム氏からの、原理的な考察が行われた。両方の報告は、それぞれパートには分かれていたが、全体として、一体となすものとして実施された。両者の報告の後、質疑応答がなされた。実施されたアンケートは、日本の法曹の場面でも当てはまる内容であり、大変興味深かったし、テレサ氏は、アンケートの項目の中身やその社会学的な方法論について、法律関係者にもわかるように、丁寧に説明されたため、よく内容が理解された。アダム氏は、AIに関連する基本的な知識から開始し、問題点が、AIそのものではなく、AIの適切な利用によるものであることを、具体的な条文を示しながら、説明をして、参加者も日本の現状を紹介したり、質問したりして、法社会学、法曹実務の参加者もあり、非常に有意義な意見交換がなされた。